

国際協同組合デー

2018年

第29回 京都集会

主催：京都府協同組合連絡協議会

J A 京都中央会 / 京都府漁業協同組合 / 京都府森林組合連合会 / 京都府生活協同組合連合会

国際協同組合デーは、毎年7月第1土曜日を、全世界の協同組合員が心をひとつにして、協同組合運動の発展を祝い、平和とよりよい生活を築くために、運動の前進を誓い合う日として、1922年に制定されました。京都では、毎年、国際協同組合デーを記念する集会企画を実施しています。

とき

2018年7月4日(水)

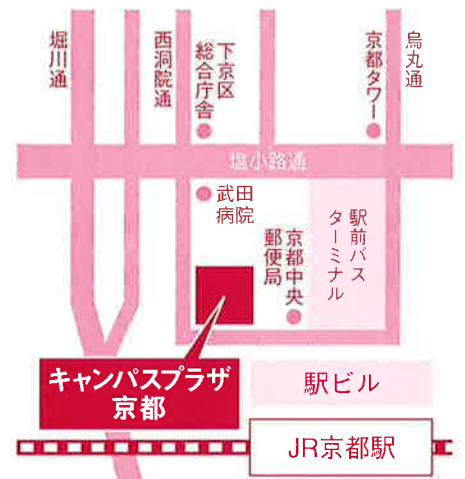
13:00~15:45 (予定) ※開場 12:00

ところ

キャンパスプラザ京都

4階 第2講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下ル
京都中央郵便局西側 JR京都駅スグ



テーマ：「**新たな協同組合連携組織の
誕生と京都の協同組合**」

[I 部：記念講演]

■「**新たな協同組合の連携組織がめざすこと (仮題)**」

講師：(一社) 日本協同組合連携機構 (略称：JCA) 協同組合連携部

部長 **前田 健喜** 氏

国連は2015年に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択し、17の目標からなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」を掲げました。その実現に向けて役割を果たす多様な民間セクターのひとつに協同組合が認知されました。2016年には、協同組合が「さまざまな社会的な問題への創意工夫あふれる解決策を編み出している」と評価され、ドイツが申請した「協同組合の思想と実践」が国連教育科学文化機関 (ユネスコ) の無形文化遺産に、登録されました。国際社会では、協同組合の事業と運動が高く評価されています。4月日本では、新たな協同組合連携組織「日本協同組合連携機構 (略称：JCA)」が発足しました。今年の記念講演は、日本の協同組合を取巻く状況と課題、現状等について理解をすすめる、今日的な協同組合の価値・役割について考えます。

[II 部：京都府内における4つの協同組合からの実践報告 ~協同組合の担い手が語る~]

J A / J F / 森林組合 / 生協から

どなたでもご参加いただけます。入場は無料です。

- 事前に参加を申込みましたみなさまには、第29回京都集会を記念して、プレゼントを予定しています。
- 申込み締め切りは、6月27日(水)となります。定員は、180名です。

問合せ先

J A 京都中央会 TEL075-681-4321
京都府漁業協同組合 TEL0773-77-2200

京都府森林組合連合会 TEL075-841-1030
京都府生活協同組合連合会 TEL075-251-1551